



究める科学・活かす技術

一人と宇宙の未来のために

日時：2005年10月15日（土）9:30～19:15

参加費：無料

主催：世界物理年日本委員会

共催：独立行政法人 科学技術振興機構（JST）

場所：タワーホール船堀

（東京都江戸川区，都営新宿線船堀駅前）

開会式（9:30～9:40）

開会の挨拶 北原武夫（世界物理年日本委員会運営委員長）

企画の趣旨 榊 裕之（応用物理学会会長）

特別公開講演会（9:40～16:40）参加申込は，世界物理年日本委員会ホームページにて受付ております。

セッション A（司会：野本憲一）（9:40-10:40）

「宇宙を探る」 “すばる” にみる人の知恵と技

家 正則（国立天文台）：「すばる望遠鏡で見た宇宙の神秘」—マウナケア山頂から—

三神 泉（三菱電機株）：「すばる望遠鏡開発のプロジェクトX」—日本の技術を世界に示そう—

セッション B（司会：坂東昌子）（11:20-12:20）

「物質と光の根源を探る」物理学者の夢・企業家の心

小柴昌俊（東京大学）：「やれば，できる」

晝馬輝夫（株浜松ホトニクス）：「これからの企業と起業」

セッション C（司会：渡辺久恒）（13:30-15:00）

「電子を究め，電子を活かす」半導体研究開発とIT社会

佐々木 元（日本電気株）：「未来をつくる半導体」

江崎玲於奈（茨城県科学技術振興財団）：「限界への挑戦」

西澤潤一（首都大学東京）：「電波から光へ」

セッション D（司会：原田慶恵）（15:40-16:40）

「生命と人の本質を探る」最先端計測で見る生体分子と脳の働き

柳田敏雄（大阪大学）：「分子モーターの世界」—分子の動きの秘密を探る—

酒井邦嘉（東京大学）：「ことばを生み出す脳の働き」—最先端機器により脳の神秘を探る—

高校生・大学生のための特別懇談セミナー（事前登録制，定員各50名）

特別公開講演会講師および第一線研究者と高校生・大学生との質疑・討論の場です。

セッション S1（物質の根源を究める）： 小柴昌俊＋晝馬輝夫 12:30-13:20

セッション S2（宇宙の神秘を探る）： 家 正則＋三神 泉 12:30-13:20

セッション S3（半導体研究の最前線）： 江崎玲於奈＋三村高志（株富士通研究所） 15:10-16:00

セッション S4（光通信技術の開拓）： 西澤潤一＋伊澤達夫（NTTエレクトロニクス株） 15:10-16:00

（参加ご希望の方は，事前登録が必要です。裏面に申込用紙があります。）

世界物理年秋のイベント記念式典（16:45～17:40）

挨拶：有馬朗人（世界物理年日本委員会会長）

記念特別講演：「アインシュタインの訪日と科学のイメージ」 佐藤文隆（甲南大学）

「物理チャレンジ」受賞者紹介および財団顕彰

特別展示（10:40～19:00）

医療機器・バイオ（X線CT，DNAチップ，SQUID脳磁計など）

環境・エネルギー（ハイブリッド自動車，燃料電池，照明用LEDなど）

情報・通信（超高速トランジスタ，スーパーコンピュータ，量子通信など）

計測機器（すばる望遠鏡，走査プローブ顕微鏡など）

世界物理年日本委員会ホームページ <http://www.wyp2005.jp/>

秋のイベントに関する詳細と公開講演会参加申込は，上記のホームページをご利用下さい。